



僕が選んだ投資信託

- インデックスファンド海外株式ヘッジあり（DC専用）

【選択理由】

先進国も含む株式型の中では運用期間の長さや、純資産、シャープレシオ、標準偏差など。トータルで見ると一番安定していると感じました。

- シュローダーBRICS株式ファンド

【選択理由】

中国やロシアを新興国と言っているのかわかりませんが、ブラジルやインドも含め長い目でみると世界経済のけん引役であることは間違いのないと思います。予算の一部をこうした投資信託に振り分けるのも必要だと感じます。



僕が選んだ投資信託

- 三菱UFJ 純金ファンド（愛称：フィンゴールド）

【選択理由】

昔から「有事の金」と言いますが、戦争や経済・金融危機の際、お金は危険を避けるために安全資産に流れます。その行き先が「金」。リスクヘッジとして資産の一部に入れておくの良いかもしれません。

- 野村世界REITインデックスファンド(確定拠出年金向け)

【選択理由】

金融（無形）資産の王道は「株式」。実物（有形）資産の王道と言えば「不動産」です（「金」もですね）。不動産型の投資信託も世界に向けての分散投資が可能です。本数がそもそも少ないのですが、その中でも純資産の大きさや運用年数などから選びました。不動産リートは、2018年4月現在では価格が落ちているので買いのタイミングでもありますね。